

「友へ」

おっくん！

何から伝えれば良いのか……。兎に角、ご無沙汰です。

高校を卒業して早二十二年。共に学び、笑い、泣き……

今思えば本当に楽しかった懐かしい日々

当時は同窓生皆が何を思い、どんな夢を抱き過ぎていたのか？

そんなことは知る由も無く、ただ、当たり前になってくる毎日を漠然と過ごしていたような

そうそう、一昨年前に卒業後、二十年の節目を迎えるに当たり、有志の発声により同窓会が開催されました。

残念ながらおっくんの姿はなかったですね。約100名が参加し、日常を忘れ、当時に戻った様な錯覚に陥ったひと時で、懐かしいやら照れくさいやら……。

三年のクラスは男女の隔たりも無く、本当に仲の良いクラスでしたね。

調子に乗り過ぎ、羽目を外し勝ちだった私の横で、いつも優しく、何とも云えない笑顔で『やり過ぎやわ〜』って促してくれたことが思い出されます。

バツの悪かった私は何度救われたことが

当時、おっくんは何を考え、どんな夢に向かっていたのですか？

そして卒業後は何を見て、何を学び、どんな人と知り合い、どんな夢を抱いていたのですか？

唐突に何を聴くねん！って聞かえてきそうですが……

四月十二日 祇園大和大路の事故。共通の友達より入った電話に耳を疑ったよ。

嘘であつて欲しいと心底願ったよ。ただただ悔しいです。

おっくんが介護士だったこと、昨年結婚したこと、そして事故の数日前に愛娘が生まれたこと……

こんな形で知りたくなかったよ。

これからと云うときに……

愛娘に教えたいこと、伝えたいこと、家族でやりたいこと……。いっぱいあったよな。そんな家族団欒の

真ん中に居てるおっくんの優しい笑顔が浮かびます。一番悔しいのはおっくん自身だよな。

ただか高校三年間同じ学校に通い、同じクラスになっただけかも知れへん。卒業後に疎遠になる仲かもしれへん。でも人生の中で同じ瞬間を生き、時間を共有し、同じことに一喜一憂できる人数つて考えると、絶対にその出会いには意味があると最近思う。

おっくんの事、忘れへん。そして、おっくんのことを思う大勢の仲間がいること、そして、おっくんが人生懸けて守ろうと誓った奥さん、愛娘もその仲間の一員だつて事を伝えたくて、ペンを執りました。

おっくんのことなので一切心配はしてないけれど、奥さんと愛娘をしっかりと見守つてやれよ！

そして、次の同窓会には立ち寄つてくれよな